

風戸研究奨励会 第18回<風戸賞>受賞講演会

開催報告

公益財団法人風戸研究奨励会（理事長 幾原雄一）は、2025 年 6 月 9 日（月）、公益社団法人日本顕微鏡学会第 81 回学術講演会（福岡国際会議場）内にて、第 18 回<風戸賞>受賞講演会を開催しました。

当日は、日本顕微鏡学会の方をはじめ、企業や研究所、市民の方など、多くの方々にご来場いただきました。

講演会は以下の内容で行われ、参加者の皆様から積極的なご質問があり、受賞講演会への関心の高さが伺えました。

ご参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

理事長 挨拶

幾原 雄一（東京大学 特別教授）



特別講演 1

演題：「日本の研究力反転は研究基盤の強化から」

文部科学省

科学技術・学術政策局長 井上 諭一 様



特別講演 2

演題：「金属における欠陥挙動の

TEM による研究」

島根大学 次世代たたら協創センター

副センター長・教授 荒河 一渡 様



第 18 回〈風戸賞〉受賞講演

研究課題：

「小胞体、核膜、核膜孔のダイナミクスの
高時空間分解能解析」



マックスペルーツ研究所
グループリーダー 大塚 正太郎 様

研究課題：

「超低温走査型トンネル顕微鏡の開発と
創発量子現象解明への応用」



理化学研究所
創発物性科学研究センター
上級研究員 町田 理 様